

令和5年度第1回白井市公立保育所の役割及び体制検討委員会会議録（概要）

- 1 開催日時 令和5年6月23日（金） 午後1時30分から午後4時まで
- 2 開催場所 市役所本庁舎2階 災害対策室2・3
- 3 出席者 手塚委員長、阿部委員、内藤委員、富澤委員、浅利委員、
田村委員、長堀委員、永田委員、稲田委員、松尾委員、武田委員、
相馬委員
- 4 欠席者 堀江委員
- 5 事務局 池内健康子ども部長、片桐保育課長、工藤主査、田口主査補
- 6 傍聴者 2人
- 7 議題 ①検討委員会の目的と役割について （公開）
②委員長及び副委員長の選出について （公開）
③白井市の保育の現状と課題について （公開）
④視察内容について （公開）
⑤今後のスケジュールについて （公開）
- 8 議 事

【委嘱状交付式】

- (1) 委嘱状交付
- (2) 市長あいさつ
- (3) 委員自己紹介
- (4) 事務局紹介

【第1回白井市公立保育所の役割及び体制検討委員会】

事務局 令和5年度第1回白井市公立保育所の役割及び体制検討委員会を開始する。

本日の検討委員会は、委員13名中、12名の出席があり、過半数が出席しているため、白井市附属機関条例第6条第2項の規定に基づき、この検討委員会が成立することを申し上げる。

また、会議は原則として「市の会議の公開に関する指針」に基づき、公開とする。ただし、白井市情報公開条例に定める非公開情報に該当する事項の審議を行う場合は公開しないことができる。非公開とするときは、あらかじめこの委員会に諮り、過半数の議決を取り決定するものとする。

なお、本日は第1回会議のため、委員長・副委員長の選出が行われるまで、事務局で議事を進行することとしてよろしいか。

委員 (承認)

事務局 では、議題1 本検討委員会の目的と役割について、事務局より説明する。（資料2「公立保育所の役割及び体制について」により説明。）

事務局 次に議題2の「委員長、副委員長の選任」については、白井市附属機

関条例第3条の規定により、委員の互選により定めることとなっている。（資料3「白井市附属機関条例」を確認）

選任に先立ち、事務局より、本検討委員会の委員構成について補足説明する。（資料1）本検討委員会では、これからの公立保育所の役割と体制について調査審議するが、このことは、市の施策の中でも大きな計画となるため、幅広くご意見をいただきたいと考え、学識経験を有する者3名、公共的団体等の代表者1名、教育機関の職員1名、市民5名、市の職員3名、合計13名とした。

学識経験者については、児童福祉専門の方を1名、今後の管理運営を検討する際、市の財政状況等も踏まえた意見をいただけるように公会計専門の方を1名、保育所での管理経験があり公立保育所の課題や強みを理解している方を1名、合計3名とした。

公共的団体等の代表者につきましては、市内の私立保育所等から、教育・保育の両方の特徴を理解している、認定こども園の代表者である方とした。

教育機関の職員は、保育所からの接続先である小学校から、代表1名とした。

市民は、市民の方の意見を広く聞くことができるよう5名とした。このうち、3名を公立保育所の保護者、一般公募と無作為抽出から1名ずつ2名を選出した。

市の職員は、公立保育所の役割を検討する際に必要な、公立保育所の現状や課題を説明できる公立保育所の園長、課題のひとつである障害児保育に造詣の深い発達センター長、市の子育て支援施策の中心的役割を担う子育て支援課の課長を委員とし、事務局の保育課とともに進めていくこととした。

以上の委員構成を踏まえ、委員長・副委員長の選出をお願いしたい。はじめに委員長の選出を行う。どなたか推薦等あるか。

委員 白井市における保育をよく理解し、この分野の経験が豊富で、専門知識を有している手塚委員を委員長に推薦する。

事務局 手塚委員のご意向はいかがか。

委員 委員長をお受けする。白井市での経験を活かしながら、委員皆さんの意見を聞きつつ慎重に進めていきたい。

事務局 委員長に手塚委員の推薦があったがよろしいか

委員 (承認)

委員長 白井市の保育においては、先ほどの説明を聞いても様々な課題があるが、委員の皆様がわからないまま進めることはせず、皆様の意見を聞きながら、慎重に責任をもって進めていきたい。

事務局 以後の議事進行は委員長にお願いする。

委員長 副委員長の選任に入る。自薦、他薦を問わないがいかがか。

委員長 白井市の公立保育園、私立保育園の両園に詳しい富澤委員を推薦したい。

委員 (承認)

事務局 副委員長からあいさつを頂きたい。

副委員 委員長の手助けができるよう努めたい。

委員長 議題3の「白井市の保育の現状と課題等について」、事務局から説明願う。

事務局 (資料4「白井市公立保育所の役割及び体制の検討について」により説明)

委員長 事務局から説明があったが、意見、質問等あるか。

委員 (質問等なし)

委員長 では私から質問をするが、13ページの⑥、職種の多様化について、実際には、どのように大変か。

委員 働く時間帯も異なるため、情報の共有、伝達がうまくいかない。また、最終的には、正規職員が責任をもつことになるので、1、2年目の職員でも正職であれば頼られてしまい、キャリア形成が難しい。

職種のほか、勤務場所や事業もたくさんあり、調理室、一時保育、子育て支援センターなど目が行き届かないこともあり、職員同士のもめごとがあると、経緯がわからず管理の難しさが認識される。

また、時間外保育士など、資格がない職員に対し、専門的知識が不足するため指導したいが、朝夕2時間のみの勤務のため、指導しづらい。

委員 事務作業も保育士の負担となっており、子どもが多いほど書くものも多い。だが、最近ではICTの推進もあり、以前のようにぎっしり書くこともないため、改善はされていると思う。

支援の必要な児について、以前よりも私立保育園の受入があり、保育園の保育士が、発達センターで勤務し、その後保育園にもどるような人事も見られ、対応に改善はあるが、重度な障害がある子どもはやはり公立に偏ってしまう。

委員 保育士は療育の部分の勉強が不足しており、療育が必要な子どもを預かることはとても負担になる。勉強するにしても研修に行くこともなかなかできない。

3(2)②正職員の負担増については、正規職員以外の職員の方が勤務年数が多い場合が多く、バランスが悪い。

委員長 保育士不足について、現状を教えてください

副委員長 加配保育士については、公定価格での加算及び市からの補助を受けているが、賄いきれず、人件費的にはマイナスで受けることになる。各私立園で受け入れているが公立保育園には及ばず、公立保育園の先生方にはご苦勞をおかけしている。

運営費上のマイナスをどう補てんするか、財政的な問題とともに、保育士不足が深刻化しており、ハコがあっても保育士不足で入所できない状況で、さらに加配保育士をどう獲得するかが課題となっている。

事務局 白井市は、人口6万人で、まだ保育の問題を私立保育園と公立保育園が顔を突き合わせて話をする機会があり、私立保育園も、白井ふじこども園で児童発達支援施設を併設したインクルーシブ保育を開始するなど、かなり協力をいただいている。

委員長 課題のなかでも、保育士不足はかなり大きな問題となっている。近隣市でも処遇改善を進めているなかで、白井市がどのように保育士を確保していくかは、重要な問題であると思う。

副委員長 課題①から⑥について、保育に関わりのある委員から現場側からの意見が続いたので、保護者代表の委員等、保育運営側でない方に、外側から見た率直な意見をお聞かせいただきたい。

委員 保育園代表ではあるが、幼稚園に勤務しておりその視点となるが、保育士不足で確保が難しいことは、保育園と同様である。

保育園では、時間外を利用しているため、正規のクラス担任とはなかなか会えず、不安はあるが、時間外の先生に、担任に伝えてほしいと、あまりため込まずに伝えるようにしている。

例えば、お迎えに行ったときに、息子が工作をしており、母親に見せたい気持ちからなかなか片付けができなかった際に、時間外保育士がその作品を壊してしまったことがあったため、担任の正規職員に報告し、解決してもらったことがある。

園内で円滑な連携を図るよう、保護者も遠慮なく話すとよいと思う。

委員長 先ほどの、資格のない職員をどう教育するかという意見にも通じる意見だと思う。

委員 現在の保育園を利用して3年目だが、とてもいいところだと感じている。

今日は送迎時に、火災の避難訓練に遭遇した。支援の必要な子どものいるクラスであったが、ベルと同時に先生がすぐに駆け付けて、その子を2人がかりで避難させていた。

先生が不足しているという印象はなく、非常時にも対応しており、先生方はとても優しく愛情深く保育していると思う。

委員 年長クラスで、当初は3人の先生が配置されていたが、途中で2人になり、1人は0歳クラスに回ったと聞いた。特に心配はしていなかったが、些細な事だが、体調がよくなかったときに、昼寝の状況を聞いたところ、聞いてないのでわからないという回答であった。

先ほどの説明で、保育士が足りていないということを聞いて、先生方もたいへんなんだろうな、と思った。

委員長 体調不良の場合などの連携不足は、あってはならないことだと思う。

委員 自分が利用していたころは保育士不足などの情報はなく、保育士が足りていたかどうかはわからない。ただ、記憶に残っているのは、給食がおいしかったこと。

これから、様々な情報を事前に聞いて視察したら、また違った印象があるのではないかと思っている。

委員 支援の必要な子どもが増加しているが要因は何か。

事務局 障害福祉と医療の発達が要因のひとつと捉えている。以前は支援が必要であるとされなかった子どもも、今では手厚く支援をしようという社会的な流れがあり、割合が増えているものと思う。

委員 本当に支援の必要な子は、専門の施設に行くと考えていたのだが、保育園に来ているということか。

事務局 様々な状況があると思うが、園で療育の必要性を保護者に伝えて児童発達支援事業所に通う場合もあれば、専門の支援事業所だけに通っている場合もある。

委員 付け加えると、療育が必要な子の保護者が就労を希望することが増えており、児童発達支援事業所では就労のための時間が不足するため、保育園を利用することが多くなっている。

委員 それでは、増えることがあっても、減ることはないということか。

委員 働かないと生計が成り立たないという家庭も増えているため、今後も増加するものと思う。

委員 それであれば、これはひとつ大きな課題であると言えると思う。

それから、公立保育園と私立保育園の待遇については、大きな差があるのか伺いたい。

委員 私見だが、おそらく公立保育園の方が高いと思う。実際私立保育園から公立保育園に異動する保育士も多い。だが、千葉県から処遇改善費用が支給されており、3万円の追加給付があるため、その差は小さくなっているのではないかと思う。

委員 では、慢性的な保育士の不足は、私立にもいえるということか。

委員 正規職員の数については、私立保育園の方が多いと思う。

事務局 保育士の処遇改善費を検討した際は、採用から最初の5年間までは公立保育園より民間保育所の方が高い給料となっていた。

委員長 民間保育所に多く携わってきた委員から、ご意見をいただきたい。

委員 これまで民間の保育所の視点に立つことが多く、民間保育所に比べ公立保育園は良いことばかりであると思っていたため、公立保育園の課題を見て驚いた。

正規職員が非常勤職員より少ない状況であるということで、正規職員の責任の重さが思慮される。

支援の必要なお子さんについては、東京都では補助金が大きいいため、経営者は受けたいが、保育士の負担は大きくなる。また、支援が必要か

どうかははっきりわからない場合も多く、そうすると補助金も受けられず、保育士の負担ばかり大きくなる状況になっている。

また、民間保育所では、職員の入れ替わりが激しいことも課題で、3年間で全員が入替わった例もある。

委員 20代、30代の夫婦は経済的に共働きが主流となっており、子どもの数が少なくなっても、保育所の需要は減少しないと思われる。

国の資料では、0歳から2歳までの約6割が家庭で養育をしているが、それにより孤立や不安が増しているため、就労などしていなくても保育所を利用できるようにしていこうとしている。そのことから、保育所の体制、保育士の不足などは、さらに課題となってくると思う。

委員長 保育所には、地域支援の役割もある。地域子育て支援センターに毎日来ている家庭もあり、入所している園児だけでなく、地域の子育て支援の役割も重要であると思う。

では、正規職員が少ないのはなぜかという説明を、事務局からお願いしたい。

事務局 定員管理や財政的な視点からの説明は、改めて説明の機会を設ける予定だが、市には、持続可能な行政経営のため、行政経営指針があり、その中に定員管理指針と行政経営改革実施計画がある。本来であれば、全員が正規職員であることが望ましいと思うが、持続可能な行政運営のため、方針に則り運営している。将来的に、公立保育園をどのように運営していくか、それも踏まえて本委員会にご検討いただきたい。

委員長 資料4「白井市公立保育所の役割及び体制の検討について」について、ほかに意見や質問はあるか

委員 (意見等なし)

委員長 では、続いて、議題4の「視察内容について」、事務局から説明願う。

事務局 (資料5「市内保育所等の視察について」により説明)

委員長 事務局から説明があったが、意見、質問等あるか。

委員 この時間帯は、子どもたちが散歩などでいないのではないか。

事務局 特に公立保育園の食事の時間を見ていただきたいとの意見から市内園と相談して決めている。

委員 公立保育園では子どもが多いので、たくさん子どもたちを保育士が、どんな工夫をしてみているかを見ていただきたい。

委員 時間が短いので、見るポイントを絞るとよいと思う。支援が必要な子に保育士がどう対応しているか、先ほど説明のあった課題に対し、公立と私立の違いは何かなど。

委員長 流して見学してしまうと見るべきところがわからないので、2クラスくらいを指定して見学するとよいかもしれない。

委員 私立は支援の必要な子があまりいないため、ポイントを絞って見学できるよう準備しておく。

園からも、こういうところを見てほしいと示してもらえば、理解しやすいかもしれない。

委員長 このことについて、視察園に事務局から連絡しておいてもらいたい。また、見学あとの質疑応答ができるか。

事務局 視察園に質疑応答についても依頼してある。数量的なことについては、各園を対比させた方が理解しやすいと思われるため、先に事務局が資料としてまとめておくこともできる。

委員長 では、数量的なことに係る質問については、先に事務局に各委員から伝えていただき、資料としてもらうこととする。

委員長 幼稚園勤務の経験から、見るべきポイントはあるか。

委員 園にはいろいろな子どもたちがおり、その日ごとに起きるトラブルも違う。トラブルなどに対し、先生たちがどのように子どもたちに声掛けをし、対応しているか見られるとよいと思う。

委員長 保育士の対応に、子どもたちがどのような反応をしているかも見るポイントになると思う。そのほかに何かあるか、委員みなさんの意見を聞いていきたい。

委員 現在育休中で、保育園の様子は送迎などでよく見ており、特に見学したいところはない。

委員 桜台保育園は誰でも入れる。防犯についても聞いてみたい。

委員 保育士が足りているのか、足りていないのか見ていきたい。

委員 保育士がこどもにどのように子どもに対応しているのかを見たい。

委員 現在の清水口保育園は、ミルクの子、離乳食の子などが混在していて、全員がお腹を空かせてしまうとパニックになる。保育士がどう対応しているか見るとよいと思う。

委員長 アレルギーの除去食なども説明していただけるとよい。

委員 通常、保育園は子どもの数に対し保育士が配置されるが、給食の時間は配膳などで人手が取られる。少ない人数で、保育士がどう対応しているか見るとよい。また、支援の必要な子たちへの対応を見てほしい。

委員 労働環境について、職員の直接話を聞けるとよい。

委員長 公立、私立で行ける時間が違う。私立保育園では給食の場面は見られないと思われるため、アレルギー、防犯などについては、事前に事務局にまとめてもらう方がよいと思う。

委員 これまでの意見と被るところが多い。配置などについてみていきたい。

委員長 ほかに意見や質問などないか

委員 (意見などなし)

委員長 他に意見がなければ、本日の白井市公立保育所の役割及び体制検討委員会は以上で終了する。

使用した資料

- ①資料1 白井市公立保育所の役割及び体制検討委員会名簿
- ②資料2 公立保育所の役割及び体制の検討について
- ③資料3 白井市附属機関条例（抜粋）
- ④資料4 白井市公立保育所の役割及び体制の検討について
- ⑤資料5 視察について
- ⑥資料6 今後の検討委員会のスケジュールについて